

10議員が町政を^{ただ}質す!!

～ 9月議会定例会 を開催 ～

聖籠町議会では、9月議会定例会を9月20日から10月3日までの間開催します。
25日と26日は、議員が町の問題を^{ただ}質す一般質問が行われます。
この機会にぜひ議会議場（役場3階）へ傍聴においでください。

[一般質問] 場所 - 役場 3 階 議場
時間 - 午前 9 時 30 分から

◆ 1日目 9月25日（月）

栗原議員・中村議員・長谷川（進）議員
斎藤議員・高崎議員

◆ 2日目 9月26日（火）

宮澤（さ）議員・長谷川（六）議員・田中議員
川上議員・青木議員

◆お問い合わせ◆ 聖籠町議会事務局 Tel 27-1967



一 般 質 問 通 告 書

質問 順位	[議席番号] 氏 名	質 問 事 項	質 問 の 要 旨	答 弁 者
1	[3 番] 栗 原 博 久	1 東港の将来像について	1 東港の土地利用率はどうなっているか。 2 固定資産税について、東港用地に課せられている固定資産税の額、町全体の固定資産税の額はいくらか。 3 東港発足時から今日に至るまでに上記の比率はどう変化しているか。 4 償却資産の内、東港関係の額と全体に占める比率はどのくらいになるか。 5 東港及び周辺地域への企業誘致の対応をどう考えているか。 6 東港の周辺地域における土地利用の現況と都市計画法による土地利用の将来の展望をどう考えているか。	町長
		2 都市計画の変更について	1 現新潟県都市計画において実態にそぐわない計画道路があるが、その是正について県当局に計画変更を求める必要はないか。	町長
		3 羽越新幹線の新駅誘致について	1 閣議決定されている羽越新幹線について、将来の展望を町長はどう考えているか。 2 羽越新幹線がフル規格で決定されるとしたら、その路線は聖籠町区内を必然的に通過することになるが、東港の効率的発展のためには東港周辺に新駅を設置することが必要と考えられるが、町長はどう考えるか。 3 東港防波堤周辺の全国有数の釣り場、海のにぎわい館のある網代浜海岸の海水浴場などにおいて、首都圏からの観光客の誘致を図るべきと考える。それには聖籠町区域内に新幹線の新駅が設置されることによる相乗効果が可能であり、この観点からも町長は戦略的展望に立って対処されるべき思うが、積極的に誘致する考えはないか。	町長

一 般 質 問 通 告 書

質問 順位	[議席番号] 氏 名	質 問 事 項	質 問 の 要 旨	答 弁 者
1	[3 番] 栗原博久	4 町特産物の付加価値を上げての販売拡大について	<p>1 町の農業特産物の生産・販売額の推移はどう変化しているか。また、生産・販売額を増加させるための町単独支援事業の取組みはあるか。</p> <p>2 サクランボ、ブドウ、モモ、ナシなど県下有数の生産地である聖籠町において、その農産物をいかに高価格で販売するかで農家収入の拡大が図られる。朝採りした農産物を新幹線を利用することで、収穫してから3時間以内に東京の店頭と並ぶことは夢ではないと思うが検討することはできないか。</p>	町長
2	[11 番] 中村恵美子	1 子育て支援について	<p>日本共産党聖籠支部が8月に行った聖籠町民へのアンケート調査では、20歳から40歳の回答が多くあった。特に今回の意見として、多くの方から子育て支援についての声があった。町民アンケートの結果を踏まえて3つの項目について何点か質問する。</p> <p>1 学校給食費の無償化について、完全無償化または半額助成など行うべきではないか。第3子以降の無償化を第2子からに出来ないか。</p> <p>2 子どもの医療費の無償化についても、4月から0、1、2歳児が無償化となり該当する保護者の方たちからは、大変喜ばれている。2歳児以降から18歳までの子どもの医療費の無償化は出来ないか。</p> <p>3 国民健康保険税が高くて大変という意見もたくさんの方からいただいた。均等割が負担になっている。人数が多くなればなるほど国民健康保険税が多くなり、負担であるという声を聞いた。国民健康保険税の子どもの均等割をゼロに出来ないか。</p> <p>4 「子どもが大きくなっても親の収入は、ほとんど変わらない。返済のいらぬ給付型の奨学金の実現をしてほしい。」という声が寄せられている。大学・専門学校を卒業すると奨学金返済という借金を背負って行くわけである。</p>	町長 教育長

一 般 質 問 通 告 書

質問 順位	[議席番号] 氏 名	質 問 事 項	質 問 の 要 旨	答 弁 者
2	[11番] 中 村 恵美子	1 子育て支援について	外国のように、大学卒業まで無償化が国で実現できれば一番いいと思う。しかし、その実現は程遠いと思う。制度を変えていかないといけない。町独自で給付型奨学金の実現はできないか。	町長 教育長
		2 高齢者の安心について	<p>1 補聴器購入の助成額の拡充について、令和5年第2回定例会で検討すると答弁したがどのような結論が出たのか。</p> <p>2 マイナンバーカードについて、保険証と一体化させることに町民アンケートでは、「たいへん不安」「少し不安」をあわせると約8割の方が答えている。政府は秋頃、マイナンバーカードを持っていない人にも引き続き保険証に代わるものを発行するとの方向性を出すと言うが、国からの通知は来ているのか。</p> <p>3 「現在、町には循環バスが走っている。しかし、バス停まで、歩くことが困難である。」という意見が高齢者の方から多くあった。胎内市のデマンドタクシー利用料は、1回300円。月平均150人が利用している。休日も運行し、1時間前までの予約で市外にも利用が可能であり、大変喜ばれている。聖籠町にもいつでも乗れる300円タクシー（デマンドタクシー）の実現はできないか。</p>	町長
		3 道路除雪について	<p>1 町民アンケートでは、これまで道路除雪についての意見はなかった。しかし、今回は道路除雪への町民の声が多くあった。</p> <p>(1) 「除雪に来る時間帯が遅くて自宅前を除雪した後から、除雪車が来る。会社にすぐ出たくても、また除雪してから出なければいけない。時間を早くしてほしい。」という意見である。除雪の開始時間を早く出来ないか。</p> <p>(2) 最近、聖籠町の除雪が良くないという声が聞こえてくる。前年度の反省を今年度に生かせるような取組みはできないか。</p>	町長

一 般 質 問 通 告 書

質問 順位	[議席番号] 氏 名	質 問 事 項	質 問 の 要 旨	答 弁 者
3	[2 番] 長谷川 進 一	1 障がい者、高齢者への支援について	<p>1 本町に住む障がい者手帳保持者は延べ741人(令和4年度)。この方々は家族と共に必死になって障がいを乗り越えて各地域で暮らしている。しかし、核家族化や高齢化も年々進んでいる。こうした中で、例えば親等が病気やケガで一時的に入院等で世話ができなくなった場合、緊急的に障がい者を預ける施設等がない。町ではこのような場合の支援は検討しているのか。</p> <p>2 本町では、65歳以上の高齢者が3639人(令和4年度)。そのうち介護保険の認定を受けながら、いつ特別養護老人ホームに入所できるか分からない待機者が相当数いると聞いている。そこで次の2点について伺う。</p> <p>(1) 特別養護老人ホーム入所待機者が現在何人いるか。</p> <p>(2) 待機者への支援策はあるか。</p>	町長
		2 蓮瀉山の口地区への環境整備について	<p>1 蓮瀉集落の山の口地区はかつて県による東港開発で集団移転を迫られていたが、県の一方的な計画変更で中止された。住民はそれまで県や町に対して積極的に相当の協力をしてきた。それによる経済面、精神面での大変な苦労があったと思う。また、最近では東港地区や新潟市への通勤者が集落内を通過しており、集落内道路は一本の狭い道路のため朝夕はかなり危険な状況である。また降雪時における除雪では各家庭でも相当苦難を強いられている。そこで町としてのこれらの実情に対し環境整備をどう考えているのか2点伺う。</p> <p>(1) 中止から現在までどのような支援をしてきたか。</p> <p>(2) 生活環境向上および危険負担解消のため、集落内道路への消雪パイプ敷設も必要と思われるがどう考えているか。</p>	町長

一 般 質 問 通 告 書

質問 順位	[議席番号] 氏 名	質 問 事 項	質 問 の 要 旨	答弁者
4	[4 番] 斎 藤 豊	1 児童・生徒の安心安全について	<p>1 聖籠中学校に限らず、こども園・小学校も含めての 防犯上の安全対策は、学校保健安全法に定めるとおり、学校の設置者は、児童生徒等の安全の確保を図るために、事故・加害行為・災害等において適切に対処することが求められている。町子ども達が安心して安全な教育を受けるためには、最も重要な課題と認識する。そこで何点か問う。</p> <p>(1) 新発田警察署から教育委員会に送られる、新発田警察署管内における過去5年間の不審者情報件数は何件か。</p> <p>(2) 不審者情報件数は増加傾向にあるのか、または、減少傾向にあるのか。</p> <p>(3) 町内に発生した過去5年間の不審者情報は何件か。</p> <p>(4) これら町内に発生した不審者情報時の対応はどのように行なっているか。</p> <p>(5) 令和4年第2回定例会において、同僚議員が聖籠中学校の安全安心上の観点から門扉、フェンス等の設置について質問し、「安全対策上の問題について再確認を行い、適切に学校管理に取り組んでまいりたいと考えております。」と答弁しているが、どう取り組んでいるのか。</p>	教育長
5	[5 番] 高 崎 美由貴	1 農業災害について	<p>1 近年、異常気象というものが通常になりつつあり、想定外の気象変動による農業災害が発生している。今後の地球環境の変動は簡単に予測できるものではないが、長期的に見ても楽観できるものではない。昨年末には大雪による被害、また、今年の7月後半から8月にかけての水不足と高温は作物の生育と品質に深刻な問題をもたらせている。そのことについていくつか問う。</p> <p>(1) 今年の水不足と高温による被害状況はどのようになっているか。</p> <p>(2) ポンプ車の利用など渇水対策の補助事業に申請する人はいたか。</p> <p>(3) 農業災害となりえる状況が発生した際の情報収集、対応はどのようになっているか。</p> <p>(4) 災害時の対応だけでなく、被害を未然に防ぐような注意喚起や、被害状況を把握し必要な対策がとれるような仕組みを構築してもらえないか。</p>	町長

一 般 質 問 通 告 書

質問 順位	[議席番号] 氏 名	質 問 事 項	質 問 の 要 旨	答弁者
5	[5 番] 高 崎 美由貴	2 学校の暑さ対策について	<p>1 前回の定例会で中学校での夏の暑さ対策について質問をした。そこで教育長は「屋内外での活動においてどのような環境整備が必要なのかを学校や関係団体と協議する。」との答弁をいただいた。改めて7月、8月の今年の暑さを振り返り、暑さ対策について伺う。</p> <p>(1) 聖籠町の小中学校の夏季休業いわゆる夏休みの期間は7月25日頃から8月27日頃までの33日間となっている。夏休み期間を8月31日までに延長する考えはないか。</p> <p>(2) 7月29日に中学生の登校日として講演会が町民会館で開催された。開催時期、時間に問題はなかったか。</p>	教育長
6	[7 番] 宮 澤 さやか	1 医療用ウィッグ等 購入支援について	<p>1 仕事をしながら通院するがん患者が増えたことで、がん治療に伴う外見の変化等が患者に与える影響が注目されている。「アピアランスケア」ということばを聞いたことがある方も多いのではないだろうか。アピアランスケアとは、悩みや不安を抱える患者へのサポートのことであり、医療用ウィッグや人工乳房などの購入費の一部を助成する自治体も増えている。</p> <p>国は2017年度に策定した第3期がん対策推進基本計画で、初めてアピアランスケアへの対策の必要性を明記している。本町でも医療用ウィッグ等購入費に対する支援を検討することはできないか。</p>	町長

一 般 質 問 通 告 書

質問 順位	[議席番号] 氏 名	質 問 事 項	質 問 の 要 旨	答 弁 者
6	[7 番] 宮 澤 さやか	2 HPVワクチンの 周知について	<p>1 厚生労働省の調査で、子宮頸がんの原因となるヒトパピローマウイルス（HPV）の感染を防ぐワクチンについて、接種対象者の28%がワクチンを知らないと答えていることが分かったと新聞に掲載された。HPVワクチンの積極的勧奨が再開されたが、対象者に対し、十分周知されていない現状が明らかになったと言える。本町では対象者、または保護者に対し、十分な周知が図れているか。また、接種について不安に思う方に対してはどのような対応をとっているのか。</p>	町長
		3 投票環境について	<p>1 選挙の投票率の低下は本町だけではなく、全国的にも低下の一途をたどっている。そのため投票率の向上に向け、各自治体が地道な取り組みや工夫を行っているといえる。そこで本町での投票環境向上への取り組みについて3点伺う。</p> <p>(1) 令和5年8月27日執行の町議会議員選挙について「今回の投票率は59.04%となり、過去最低を更新した」と新聞報道でもあったが、前回の議員選挙と比較して、世代別投票率の変化はあったか。選挙管理委員長は本町の投票率をどのように認識されているのか。</p> <p>(2) 令和4年第3回定例会において、投票率向上に向けた取り組みについて何点か質問・提案を行った。選挙管理委員会ではどのような議論がなされたのか。また、今回の選挙に反映されたことは。</p> <p>(3) この度の選挙期間は酷暑の中行われた。投票日も同様の暑さが続いており、改めて投票所の環境整備の重要性が問われたと思う。感染症対策や熱中症対策を含め、投票立会人や職務に従事する職員、投票者にとって、環境整備が急務ではないかと思うがどうか。</p>	選挙管理 委員長

一 般 質 問 通 告 書

質問 順位	[議席番号] 氏 名	質 問 事 項	質 問 の 要 旨	答弁者
7	[8 番] 長谷川 六 男	1 買い物難民について	1 本町でも核家族世帯や高齢化が進み、高齢者の一人住まいが増えている。高齢者の中には、最初から車の運転免許証を持たない人や運転免許証を返納した人、自転車も乗れない人など、多くの高齢者が生活している。町は高齢者のために、タクシー券を配布しているが枚数に限りがある。また、町の循環バスを利用したくても、路線変更に伴い以前のようにバス停が近くに無くなったため非常に不便を強いられている。買い物や病院へ行くときは知り合いに送迎していただいていると、最近その様なお年寄りからの声が多く聞こえるようになった。町にはそのような声が届いているのか。届いているとしたら、どのように買い物難民を救う手立てを考えているのか。	町長
		2 マンホールトイレ設置について	1 令和3年第2回定例会で一般質問をした、マンホールトイレ設置について伺う。その時の質問に対して、担当課長の答弁では、町はマンホールトイレの検討はしていないとのことであった。いつ起こるか予測できないのが、大地震である。インフラ設備が寸断すると、どれも困るが一番困るのはトイレではないだろうか。国は1995年の阪神淡路大震災で避難所などのトイレが使えなくなったことを教訓に、整備を推進している。7月15日の新潟日報朝刊によると、2007年の中越沖地震発生から16日で16年目を迎えるにあたり、聞き取り調査を実施とあった。国土交通省がマンホールトイレの調査対象としている県内28市町村に、23年3月時点の整備状況を確認したとある。導入済みは12市で町村はゼロだった。国はマンホールトイレを災害対策の柱の一つに位置付け、自治体に整備を要請しているが、費用の重さなどから広がりやを欠く実情が浮かび上がったとあった。工事費などで1基当たり約200万円かかるというが、国土交通省は06年度から設置費用の半額補助を実施している。町も避難所になっている公共施設や、各小学校、中学校にマンホールトイレを設置する必要があると考えるが、改めてどのように町長は考えているか。	町長

一 般 質 問 通 告 書

質問 順位	[議席番号] 氏 名	質 問 事 項	質 問 の 要 旨	答 弁 者
8	[10番] 田 中 智 之	1 保育料、2歳児から無料にできないか	1 新発田市は市の独自政策として令和4年4月1日から2歳児の子どもの保育料を無料にした。未満児の保護者は所得によって決められた保育料を支払わなければならないが、この政策により新発田市の保護者の金銭的負担は大きく軽減された。また全国的に問題となっている人口減少対策として他自治体からの移住を促すという点や少子高齢化対策としても効果的な政策だ。一方、本町の保育料は基本的に0歳から2歳までは有料で、おおよそではあるが子ども一人あたり月額2万円から3万円、収入が多い家庭では4万円程度の保育料がかかっている。本町は世間的には「子育て施策が充実した町」というイメージがもたれており、それを期待して転居・移転してくる若い世代も多い。しかし、かつて世の中を驚かせた本町独自の政策「保育料無料」は、2019年に国全体が無償化となり本町の優位性は無くなった。そして現在、多くの自治体では保育料以外の部分で独自の子育て策を設け、子育て支援、転入者増に力を入れている。全国的には0歳から就学前まで所得制限なしで完全に無料にしている自治体が増えつつある中、本町でも、まずは2歳児の保育料を無料にできないか。	町長
		2 教科センター方式は何故必要なのか 中学校の現状と今後の見通しは	1 感染症の5類移行に伴い、聖籠中学校は感染症流行前の教科センター方式を復活させる予定であると聞いていた。しかし現時点では再開されていない。このことに関して保護者から不安の声、不満の声が聞こえてくる。今後、実施されるであろう聖籠中学校の教科センター方式移行へ対する教育委員会としての基本的な考えを伺う。 (1) 開校当初、教科センター方式は生徒の学力向上に有効な方式として導入された。20年経って、生徒の実態に合った方式と考えられるのか。生徒に合った方式と言うなら、そのことを示すデータ等はあるのか。	教育長

一 般 質 問 通 告 書

質問 順位	[議席番号] 氏 名	質 問 事 項	質 問 の 要 旨	答弁者
8	[10番] 田中智之	2 教科センター方式は何故必要なのか 中学校の現状と今後の見通しは	(2) 教科センター方式を前提とした校舎を建設してしまったため、施設の有効利用ができていないようだ。教科センター方式を当面見合わせるならば、現在の空きスペースや教室のサイズの違いによって発生する問題をどのように考えているのか。	教育長
9	[1番] 川上りな	1 障がい者福祉について	1 他市町村には多くの放課後デイサービスが存在している。放課後デイサービスとは、支援を必要とする障がいのある子供に対して、学校や家庭と異なる時間、体験を通じて個々の子供の状況に応じた支援を行うところである。本町では現在、障がいのある子供たちは他市町村の放課後デイサービスまたは町内の児童クラブにお願いしているのが現状である。聖籠町に設立して欲しいといった要望を多く聞くがいまだに設立の予定がないと聞く。障がいのあるなしに関わらず、なるべく多くの町民が笑顔で暮らしていくためにも必要な、いわゆるセーフティーネットとしての性質をもつものとするが設立を検討することはできないか。 2 西脇町長もこれまで各種会議等で親亡き後について言及もしくは対応してきていると聞いたが、これまで、行政として障がい者及びその保護者（主に親）たちの状況にあまり焦点が当てられていないのではないかと思われる。誰しも生まれた特性に関わらず子への愛は不変的で恒久的なものである。その親が高齢化し、最も懸念するのは自らの余命ではなく、子の今後である。町長として今後の親亡き後の対応方針について考えを問う。	町長
		2 若者の町への関心について	1 今回、聖籠町議会議員選挙に立候補し若者の町への関心のなさを身に染みて感じた。世間では、関心のない若者が悪いといった風潮があるが、私は若年層をターゲットにしたアプローチが足りていないと考える。また、関心がないのではなく、知るすべが少なすぎると考える。若者に、聖籠町の関心を持ってもらえるよう、今以上に町をPRするイベントを行うべきではないか。	町長

一 般 質 問 通 告 書

質問 順位	[議席番号] 氏 名	質 問 事 項	質 問 の 要 旨	答 弁 者
9	[1 番] 川 上 り な	3 奨学金返還支援制度について	<p>1 町民の方からお話を聞く中で「聖籠町は小さい子への支援は充実しているが、1番お金のかかる高校生や専門学生・大学生への支援が足りていないのではないかと。もう少し力をいれることは出来ないのか。」といった声を耳にする機会が多くあった。厚生労働省の毎月勤労統計調査によると、今年7月の働く人1人あたりの実質賃金は去年の同じ月に比べて2.5%減少であった。賃金の実質的減少・物価の高騰に加え奨学金返済と、苦勞している若者が多いと聞いている。事実、私と同世代の若者は奨学金返済の真ただ中であり、延滞はせずとも生活を切り詰めて返済しているのが現状である。そこで、多くの自治体が行っている奨学金支援制度を本町でも導入するべきではないかと考えるが町長はどのように考えているか。</p>	町長
10	[9 番] 青 木 順	1 町政全般において	<p>1 シングルマザー・ファザー対策についてだが、当町のひとり親世帯は、約100世帯で推移しているが、その対応や、支援について聞く。</p> <p>(1) 現在の支援制度でひとり親家庭の満足度はどの程度ととらえているか。</p> <p>(2) 調査によると、両親家庭より、ひとり親の鬱病発症数は、2倍から3倍といわれている。町の状況はどうか。</p> <p>(3) 当町においても様々な支援制度がある。各自治体によっても違いはあるが、離婚する場合、どちらかが転居せざるを得ない場合があると思う。令和5年8月28日現在において、町営住宅東山団地の空き部屋数は22部屋となっている。なかなか入居者も増えないところを踏まえて、活用できないか。他の自治体では取り組んでいるところもあるが、ひとり親世帯や低所得者などに減免制度を設け、優しい町営住宅にする考えはないか。また、町営住宅の空き部屋の多数が4階・5階である。階段という状況を考えると暮らしやすくはないと考える。学生であれば、まだまだ許容範囲だと思う。体力のある学生に4階・5階を借りてもらうためにも学生に減免制度を設けてはどうか。</p> <p>(4) DV被害の相談件数はどの程度か。また、被害者の対応策は万全か。</p>	町長

一 般 質 問 通 告 書

質問 順位	[議席番号] 氏 名	質 問 事 項	質 問 の 要 旨	答 弁 者
10	[9 番] 青 木 順	1 町政全般において	<p>2 老人クラブの状況について、平成30年度には20クラブあったが、令和4年度には16クラブとなった。会員数も1295人から861人まで減少している。クラブ数の減少が止まらない状況だ。今後の運営をどの様に考えているか。老人クラブが減少している問題は何か。町として5年後、10年後に老人クラブはどのようにならしてほしいのか。</p> <p>3 町の各種会議の議事録作成においては、多くの時間と、経費が使われている。令和5年度には250を超える自治体がAIなどを取り入れ、時間と経費の削減に成功している。当町でも検討すべきでないか。</p> <p>4 町の循環バスの路線や、運行の時間帯など、これまでも様々議論されてきている。バスに乗ると、新発田商業高校に間に合わないため出発を15分早めてほしいとか、中学校の下校時においては、二本松・追分方面で役場からの乗り継ぎが悪い事や、共働きで送り迎えができないから、藤寄方面出発の便を五分早めてほしいとか様々な声を聞いた。また東港の企業からは、外国人労働者も増え、買い物なども困難な時もあるためや、中学生の保護者からは部活動の送り迎えもあるためなど、土曜日、日曜日の運行も検討してほしいなどである。もちろん多様な生活実態があるため、要望に全て答えることは難しいと考えるが、検討の余地は大いにあると思う。今後の運行についての考え方を聞く。</p>	町長